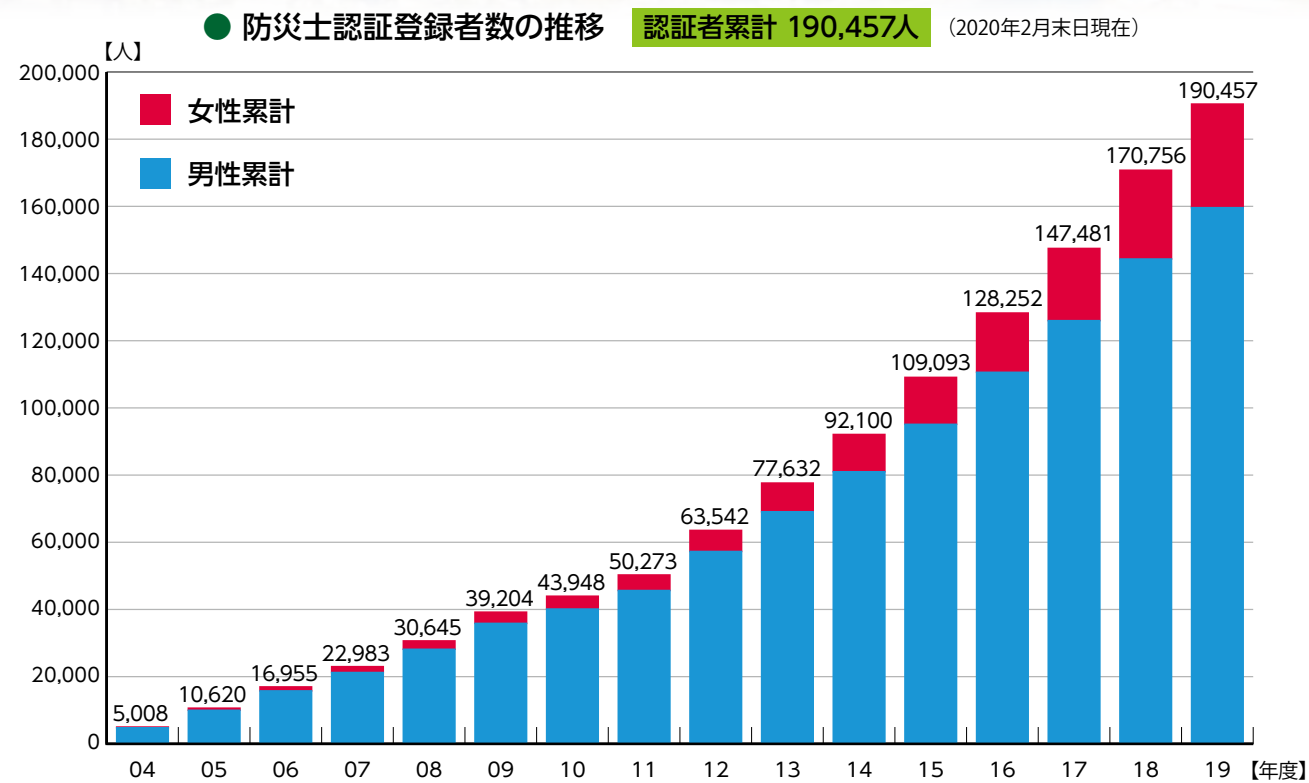


防災士

「一人ひとりが地域の防災リーダー」を目指して

松本大学防災士養成研修講座



長野県地域防災推進協議会について

松本大学で防災士養成研修講座を開講する中で、受講者から資格取得後のプログラムを求める意見・要望が数多く寄せられてきたことを踏まえ、長野県内の防災士等のネットワークを構築し、情報交換、研修を行うために、松本本学に事務局を置く「長野県地域防災推進協議会」を設立しました。協議会は、長野県内の自治体と連携しつつ、各種防災計画等の立案・運用に関して近隣に居住する防災士を紹介・派遣すること、また、県内防災士のレベルアップと情報交換を目的とする定期研修会を実施すること等を主な目的として活動しています。



学校法人松商学園

松本大学

■お問合せ先■

松本大学総務課内
松本大学防災士講座事務局

〒390-1295 松本市新村2095-1

tel.0263-48-7200

fax.0263-48-7290

[松本大学 検索 https://www.matsumoto-u.ac.jp/](https://www.matsumoto-u.ac.jp/)



●松本I.C.より車で5分
●JR「松本駅」より松本電鉄上高地線「北新・松本大学前」駅下車徒歩2分



学校法人松商学園

松本大学

減災と社会の防災力向上の役割を担う「防災士」

防災士とは、「自助」「共助」「協働」を原則として、家庭や地域、職場、学校など社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を修得したことを、日本防災士機構が認証した人です。

松本大学の「防災士養成研修講座」

■ 防災リーダーの人材育成

松本大学では東日本大震災や長野県北部地震の災害支援活動に取り組んできた実績を踏まえ、2014年度からNPO法人日本防災士機構の認定を受けて「松本大学防災士養成研修講座」を開催しています。防災知識を身に付けた「防災リーダー」の育成は、減災への備えと、「防災力」のあるコミュニティづくりに必要であると考えます。教育・研究と社会貢献を一体のものとして発展させるため、地域における防災機能を担う大学として防災士養成研修講座を開講します。

■ 防災士になるメリット

防災に関する知識と実践力を身につけ、地域や職場の防災のリーダーとして認められるほか、災害に備えてスキルを磨き、安心・安全なまちづくりの担い手として活躍の場が広がっています。学生にとっては社会人や地域の様々な世代、様々な職業の方と演習や研鑽を積むことができるため、防災士の資格と併せて、就職活動の際の自己PRにもつながります。

防災士養成研修講座カリキュラム（例）

1日目		
時 限	科 目	
開講式（8:40～）		
1時限（9:00～10:00）	災害医療とところのケア	
2時限（10:10～11:10）	行政の災害対策と危機管理	
3時限（11:20～12:20）	行政の災害救助・応急対応	
昼 休 み		
4時限（13:00～14:00）	火山災害	
5時限（14:10～15:10）	風水害・土砂災害等への備え	
6時限（15:20～17:30）	被害想定・ハザードマップと避難情報（演習・2コマ）	

2日目		
時 限	科 目	
1時限（9:00～10:00）	災害ボランティア活動	
2時限（10:10～11:10）	地震・津波による災害	
3時限（11:20～12:20）	土砂災害	
昼 休 み		
4時限（13:00～14:00）	災害関連情報と予報・警報	
5時限（14:10～15:10）	災害情報の活用と発信	
6時限（15:20～16:20）	企業・団体の事業継続	

*資格取得 2日目 16:40～17:40
合否結果は後日通知

（講師の都合により変更になる場合がございます）

受講規約

1. 受講に際して許可無く、録画・録音の機器を持ち込むことを禁じます。
2. 受講料は受講開始前に支払い、支払後個人的な事由により受講をとり止めた場合一切返金致しません。
3. 受講中、携帯電話は電源を切るかマナーモードにして他の受講者の迷惑とならないようご注意ください。
4. 大学敷地内は全面禁煙です。
5. 受講中に他の受講者の迷惑となる行為は慎んでいただくようお願い致します。
6. 座席、グループワークの進行等は講師の指示に従っていただきます。
7. なるべく公共交通機関をご利用ください。受講日は松本大学学生駐車場をご利用いただけますが、同時開催のイベントがある場合は混雑が予想されます。
8. 受講に際してお預かりした個人情報は、松本大学防災士講座事務局が保管し、受講中の諸連絡並びに受講後の各種情報提供のために使用することをご承ください。
9. 会場内での記録・報道のための撮影や録音について予めご了解ください。

防災士養成研修講座に関する Q&A

Q その1 どんな人が受講するのですか？

A 自治体の防災担当者、自主防災組織など地域の防災リーダー、ボランティア活動者、小・中・高校・大学教職員、企業の防災担当者、県・市議会議員、郵便局長、消防団員、婦人防火クラブ員、自衛隊員、主婦、学生、新聞・放送のメディア関係者などの方が受講しています。

Q その2 受講に備えた事前学習はどんな内容ですか？

A 防災士養成研修講座テキスト「防災士教本」を読み、9講目の「履修確認レポート」を作成していただきます。目安として1日2時間位の学習で、5日間程度の分量です。

Q その3 研修講座内容の難易度はどの程度でしょうか？

A 松本大学の教授をはじめとした講師陣が、福祉や医療、ボランティア、防災に関する幅広い分野を分かりやすく講義いたします。

Q その4 試験はどんな形で出題されますか？

A 試験は三択式で30問出題されます。試験時間は50分、24問以上正解した方が合格となります。

防災士になるために必要な条件

- ①大学等の認定研修機関で研修を修了すること
- ②防災士資格取得試験に合格すること
- ③救急救命講習を修了すること

研修講座の内容

自宅学習

お申し込みを頂いた方に「防災士教本」（日本防災士機構・編）ほか教材一式を、事前にお送りします。会場研修までの間に、ご自宅で学習に取り組み、履修確認レポートを完成させてください。

会場研修

2日間の会場研修を受講していただきます。特色ある講師陣の講義により、「防災士教本」で自習した内容をより深く学びます。

資格取得までの流れ

